

# あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会  
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭  
編集人 新井 智

〒379-2166  
群馬県前橋市野中町361番地2  
(群馬県勤労福祉センター2F)  
TEL 027-263-0555  
FAX 027-261-0549  
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp  
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2013年11月号  
No.223

## 活力ある地域をめざした頼りにされる活動を!



キーワードは  
連動・行動・動き出す!

10月26日、伊勢崎市境総合文化センターにおいて、代議員・オブザーバー・傍聴や議員懇会員など、265名が出席する中、第18回年次大会を開催しました。

第13期前半期の取り組みを総括するとともに、後半期に向けた6つの重点項目「①組織強化・拡大」「②勤労県民サポート」「③政策提言と実現」「④地域活動の強化・充実」「⑤政治活動への参画」「⑥東日本大震災復興支援」に基づく『2014年度活動方針・計画』、および連合群馬の活動のあり方を論議する『組織・財政検討委員会の設置』を確認し、第13期後半期の活動のスタートを切る大会となりました。

※方針についてはホームページをご覧ください



北川会長を先頭に団結ガンバロウ!!

### 【北川会長あいさつ抜粋】

我々は、勤労者の集まりである連合として、地道に足元を見つめながら、地に足が付いた活動をしていくことが、労働組合運動であり、お互いの助け合いにより、生活感も含めた前進に繋がるものです。



北川会長

そのような意味では、「活力ある 自動車総連・富士重工労組 地域をめざした頼りにされる活動の展開」の旗を掲げる中、構成組織、産別・地協、あるいは県連合の役割をしっかりと明確にしながら、活動してきました。

具体的には3つの大きな柱をあげ、1つは「1000万連合実現」に向けた組織拡大への着手、もう1つは、「地協体制の強化」、最後に、勤労県民サポートである「労働相談や労働条件の底上げ」の取り組みであります。

すべての活動において、同じ思いを持ち、様々な議論をつくしながら方向性を決めたら、決めたことを着実に実行するということが大事だと思います。私が3年前に就任した時に『連携・連帯から連動へ』、ともに動こうというキーワードを提起しました。

あらためて、「連動、とにかく行動、動き出す」ということを後半期もキーワードに邁進してやっていきたいと思いますので、関係各位の絶大なるご協力をお願いします。

## 来賓あいさつ (抜粋)

県民が安心して暮らせる地域社会の実現のために、ご尽力をいただいていることに対し、深く敬意を表します。

今年も県政全般にわたり、1万人を超える県民からのアンケートを分析した、大変貴重な政策提言をいただきました。多くの県民からのご意見として、しっかりと受け止め、県政に反映をさせていただきたいと考えています。

さて、県内は、自動車関連産業を中心に生産が増加し、雇用関係も改善の動きが見られるなど、景気は緩やかに回復傾向にあります。

今後、企業業績回復の影響が家計へと波及することにより、景気回復の裾野が広がっていくことが期待され、県民生活の安全・安心確保への取り組みを一層進めるとともに、経済対策の効果を県内隅々まで行きわたらせることにより、多くの県民が一日も早く景気回復を実感できるよう、全力で取り組んでまいります。



群馬県知事  
大澤 正明 氏

県内の労使関係の安定に向け、労使共同提言や新春労使共同セミナーなど、連携して取り組んでいます。1000万連合の実現に向け取り組まれるとのことですが、経営者協会も会員拡大に努めることが課題であり、同じ思いであります。

困っている方への課題解決を行うことも重要な取り組みであり、引き続き連携した取り組みを展開していきたいと考えます。



一般社団法人  
群馬県経営者協会  
会長 児玉 三郎 氏

せっかく就職をした若者が、すぐ離職している状況にあり、労働組合と労働局がそれぞれの役割を果たしていくことは非常に重要です。我々群馬労働局が連合群馬に対して、支援できることがあれば、今後とも連携したいと考えています。



厚生労働省群馬労働局  
局長 小玉 剛 氏

## 質問・意見・要望

### 【代議員から】



日教組 長山代議員

日教組は、組合への加入活動に取り組んでいるが、組合加入は「オープンショップ」であり、なかなか進まない。各組織において、親戚やお子さんなど教職に就かれています方への組合加入に向けた後押しをお願いしたい。



U A センセン  
船津代議員

労働団体には連合以外の組織もあり、組織強化という意味では、そのような組織の学習も必要であると思う。組織強化には、メーデーの意義やデモによる意識の高揚も必要であり、メーデーを復活させてはどうだろうか。

広報については、フェイスブックを用いた情報発信とあるが、今までのホームページとの違いについて伺いたい。



自治労 青木代議員

政府による新たな地方公務員給与削減を阻止する取り組みに対して、連合群馬としてご支援いただき感謝します。

公務員労働者は、労働基本権が一部制限されており、その代償措置として人事院勧告制度で保障されているもので、今回の削減はその制度を全く無視した違法な行為である。

今後も想定される、地方財政見直し・公務員給与削減に対し、引き続きご協力をお願いしたい。

### 【執行部より】 金子事務局長

#### ■ 組織拡大について

「1000万連合実現」に向けて、結成以来過去最高の12万5千人をめざし、産別・単組との連携による取り組みをスタートしました。県内には組合に加入していない労働者が71万人います。労働組合の必要性を伝え、ひとりでも多くの労働者が連合に結集できるよう、構成組織の直接的・間接的なご支援をお願いします。

#### ■ メーデーの開催について

21世紀委員会で「日々の取り組みを充実させることがメーデーの意義を継承するものである」との論議の結果、2001年にトータルライフアップの充実とともに、労働者だけではなく、地域とのふれあいの場を提供することも踏まえ、現在のフェスティバル形式になりました。しかし、労働者の祭典・メーデーを知らない世代が増えていることは事実であり、再度、意義の継承について検討していくことは必要であると認識しています。

#### ■ 広報について

フェイスブックに関しては、双方向による情報の共有ができるため、アカウントの登録をお願いします。引き続き、広報研修会も開催強化していきます。

#### ■ 地方公務員の給与削減問題について

デフレ脱却に矛盾するものであり、単に公務員の給与削減といった影響にとどまらず、学校教育や医療、保育など我々の生活に直結するものであり、地域経済の後退も懸念されます。すべての働く仲間の問題と捉え、取り組んでいきます。

